

## ■ 防災探検まち歩きのとめ (加藤先生)

皆さんは「百聞は一見にしかず」という言葉を知っていると思います。今回は、普段何気なく生活をしているまちを改めて見てきたわけですが、みなさんの感想からもわかるように、やはり一見で得るものはすごいと感じているかと思っています。

では、「百見は一体験にしかず」という言葉は知っていますか。色々見聞きすることは大切ですが、実際に自分でやってみるということは、もっと得るものがあるということです。今回のまち歩きで感じたこと、考えたことをしっかりと記録して、次回以降の活動に活かしていきましょう。



## ■ 次回ワークショップ (2/20) までに研究員がとりくむ研究内容!

研究員には、次回ワークショップまでの宿題が出されました。研究室ごとにその結果をまとめて次回ワークショップで報告していただきます。

研究室名	内容
地域計画室	・各家庭向けに防災意識等に関するアンケートを作成してみよう! (例 非常用持ち出し品等、災害時の備えは? / 家族の間で、避難場所や連絡方法を決めている? 地区におけるまちづくり活動への参加状況やその内容は? など)
防災対策室	・まち歩きで配った感震ブレイカーが、その後、どうなったかを追跡調査してみよう! ・お父さん、お母さんに地震時の危険性を説明し、自分の家に感震ブレイカーを設置してみよう! ・自分の家のまわりに移動式ホース格納箱があるか調べてこよう! ない場合、設置できそうな場所が近くにあるか考えてきてね。
まちづくり推進室	・お父さん、お母さんに地震時の危険性を説明し、家具の固定をしてみよう! ・戸建の住宅の人は、家の耐震状況を確認できるチェックリストに挑戦してみよう! ・「紙ぶる」をつくってなければ、つくってみてね!
地域福祉室	・災害時に助けを必要としそうな身のまわりの方々に、防災面も含め、「生活している中で不安に思うこと」を聞いてみよう! 質問項目は自由に検討していいよ。
地域協働推進室	・自治会等の会合で、第2回目までに実施した内容を報告してきてください。 ・また、会合の中で、他の方からご意見などがありましたら、とりまとめをお願いします。

## ■ 「2016 防災フェア」で研究員 (中学生) が中間報告しました!



阪神淡路大震災の発生日である1月17日(日)に開催された「2016 防災フェア」で、研究員である松林中学校の生徒の皆さんがワークショップの中間報告として「われら松林地区防災もまちづくり研究所!!」を市民の皆さんに向けて発表しました。

発表では、これまでのワークショップで実施してきた体験学習や防災探検まち歩きの内容、研究員の感想などを紹介しました。

## ■ ワorkshopの今後の予定 まだ参加されていない方のご参加も、お待ちしております!

回数	日付	時間	概要
第1回 (終了)	平成27年11月21日	9:30~12:00 (150分)	地域の状況等の説明/加藤先生からの講演/体験学習
第2回 (終了)	平成27年12月20日	9:30~12:00 (150分)	松林地区の防災もまちづくり活動の現状と今後 防災探検まち歩き
防災フェア (終了)	平成28年1月17日	13:00~16:30	2016防災フェア ~見て!聞いて!話そう! 知っていますか? 私たちの地域防災~
第3回 (予定)	平成28年2月20日	9:30~12:00 (150分)	地域のできるまちづくり活動について、検討しよう!
第4回 (予定)	平成28年3月13日	9:30~12:00 (150分)	アクションプログラムをつくってみよう! 防災まちづくりワークショップのとめ

## 自助 (個人)・共助 (地域) の視点から防災まちづくりについて考えてみませんか?

## 松林地区「防災都市づくりワークショップ」ニュース Vol.2



### 「防災探検まち歩き」で、まちを見る!

茅ヶ崎市では、東京大学生産技術研究所の加藤孝明准教授のご協力のもと、平成21年度から「防災都市づくりワークショップ」を実施し、地域のみなさんと一緒に災害に強い都市づくりを進めております。

今年度は、松林中学校の生徒の皆さんをはじめ、松林地区の皆さんと一緒に「東京

大学加藤研究室附属 松林地区防災もまちづくり研究所」を設立(5つの研究室に分かれて活動)し、全4回のワークショップを実施しています。

平成27年12月20日(日)に開催された第2回目のワークショップでは、「防災探検まち歩き」で普段何気なく生活しているまちを「防災“も”まちづくり」の視点で見

### ~第2回 松林地区「防災都市づくりワークショップ」で行ったこと~

《はじめに》  
第1回目のおさらい

《グループワーク①》  
防災探検まち歩きの実施方法の説明  
防災探検まち歩きの視点・ルートの確認

《情報提供》  
「松林地区の防災もまちづくり活動の現状と今後」

《防災探検まち歩き》

《グループワーク②》  
防災探検まち歩きを実施した感想

《閉会》  
加藤先生からのお話  
次回予告

## ■ 情報提供「松林地区の防災もまちづくり活動の現状と今後」より

松林地区自治会連合会の各自治会においては、自主防災会という組織があり、それぞれ防災リーダーを中心に活動しています。例えば、まちに危険個所がないか、パトロールを実施し、ブロック塀が傾いているお宅があれば直していただくようお話をしています。

また、松林地区は高齢化が進んでおり、このような地区で災害が起きた時には、中学生や高校生が頼りになります。例えば、お祭りのお手伝いにボランティアで来てくれると、後片付けなどでは一番頼りになり、中学生や高校生の力はすごいと感じています。

これからも中学生の皆さんと一緒に松林地区のまちづくりをどうしたらいいか考えていきたいと思っています。

下赤羽根自治会  
安齋会長



**第2回 松林地区防災都市づくりワークショップ  
防災探検まち歩きマップ**

※まち歩きの際に  
使用したマップ  
です

「防災探検まち歩き」では、まちの良いところや課題を探しながら、研究室ごとに松林地区全体を回りました。(大人班の地域協働推進室は、他の班に分かれてまち歩きを実施しました。)  
①まず、研究室ごとに決めたルートで松林中学校からチェックポイント(室田第一公園・八王子神社)に向かいました。  
②そこで第一のミッション(松林公民館へ向かえ!)を得ます。  
③松林公民館からは、研究室ごとに与えられた第二のミッションを実行しながら松林中学校まで戻ってきました。

**各研究室の第二のミッション**

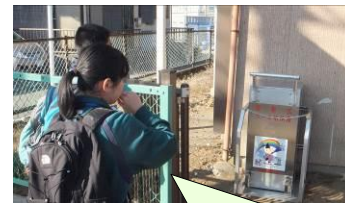
**地域計画室**

まち(松林地区)の人にヒアリングせよ!  
①災害に対する備え、どのようなことをしていますか?  
②松林地区のまちの魅力とは?



**防災対策室**

①移動式ホース格納箱を見つけ、使い方をマスターせよ!!  
②感震ブレイカーの必要性をまち(松林地区)の人に説明せよ!(取り付けてもらう)



**まちづくり推進室**

①迂回しながら帰還せよ!(道路がふさがってしまっていると想定)  
②景観ポイントを探せ!



**地域福祉室**

体験キットを使って帰還せよ!  
①車いす  
②視覚障害体験キット  
③マタニティジャケット



良い風景もあったので、長所としてまちづくりの参考にしたい



地域の人とふれあえて楽しかった。ヒアリングした人から全く違う意見が聞けて面白かった。

**松林公民館では第二のミッションが..!**



**松林公民館(折返し地点)**

初めて使い方を知ることができたので、周りの人に広めていきたい!

神社の高いところからは、木漏れ日がきれいだった! 街並みもきれいに見えた

周りが見えないと車の音が怖かった。目の見えない人の気持ちがわかった。車いすでは、ジャリ道がガタガタして怖かった。

**②第一のミッション  
松林公民館へ向かえ!**

**【防災対策室・まちづくり推進室】  
チェックポイント:八王子神社  
(菱沼児童公園・菱沼自治会館  
・松林小学校近く)**



実際に自分の住んでいる地域を歩いてみることで、身近にどんな危ない場所があるか知ることができた



**②第一のミッション  
松林公民館へ向かえ!**

**【地域計画室・地域福祉室】  
チェックポイント:室田第一公園**



**③第二のミッションを  
実行しつつ中学校へ**

**松林中学校 スタート  
& ゴール**

消火器の入れ物の色がうすくなっていた



移動式ホース格納箱は、見たことはあったけど名前も、使い方もわからなかった



視覚障害では、細かい段差にも恐怖を感じた妊婦さんも歩きづらく大変だった



ブロック塀で道がふさがれてしまいそうなところがあった



オレンジ色の線で囲まれたマンホールが消火栓だと知らなかった



**①研究室ごとに決めたルートで  
チェックポイントへ**



まち歩き後は、ミッションの報告を行いました

